

2014年度短期集中夏季英語セミナー

(スーパーグローバル大学等事業「経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援」)

1. 短期集中夏季英語セミナーの概要

国際コミュニケーションセンター（SOLAC）では、文部科学省「スーパーグローバル大学等事業「経済社会の発展を牽引するグローバル人材育成支援」の一環として、平成26年9月1日から9月26日の約1か月間、短期集中夏季英語セミナーを開催した。実施したセミナーは「Academic Writing 短期集中セミナー」「TOEFL® 短期集中セミナー」「Academic Speaking 短期集中セミナー」である。

各セミナーの目的は、以下の通りである。

Academic Writing 短期集中セミナー	論文やレポートを書く為の練習の場としてのセミナー
TOEFL® 短期集中セミナー	留学の際に必要となる TOEFL® のスコアアップを目指すセミナー
Academic Speaking 短期集中セミナー	プレゼンテーションをする為の練習の場としてのセミナー

又、本セミナーの対象・クラスサイズ・使用言語は、以下の通りである。

対象者	神戸大学の学部学生・大学院生
クラスサイズ	原則として、1クラスにつき5名～10名の少人数制
使用言語	英語

2. セミナーの実施内容

開講された各セミナーの名称・講師・日程は、以下の通りである。なお、Course Description等の詳細は、5. 参考資料に示す。

2.1 Academic Writing 短期集中セミナー

<セミナー名> English Writing for Beginners

<講師> David Kolf

<日程> 9月1日(月), 3日(水), 5日(金) 2, 3限 (計6コマ)

2.2 TOEFL® 短期集中セミナー

(1) <セミナー名> TOEFL® for Beginners

<講師> David Kolf

<日程> 9月8日(月), 10日(水), 12日(金) 2,3限 (計6コマ)

(2) <セミナー名> TOEFL® for Intermediate Learners

<講師> David Kolf

<日程> 9月16日(火)～18日(木) 2,3限 (計6コマ)

2.3 Academic Speaking 短期集中セミナー

(1) <セミナー名> English Speaking for Beginners

<講師> Ellen Rettig-Miki

<日程> 9月24日(水)～26日(金) 1,2限 (計6コマ)

(2) <セミナー名> English Speaking for Intermediate Learners

<講師> Ellen Rettig-Miki

<日程> 9月24日(水)～26日(金) 3,4限 (計6コマ)

3. 実施実績

Academic Writing セミナーは、半数の受講者が海外での短期滞在経験者であったが、多数の受講者が将来、長期滞在を目指している、又は、すでに国際的な場面での活動が想定される進路が決定しており、将来の準備の為にライティングのスキルアップを希望する者が多かった。受講者総数はのべ9名であった。

TOEFL®セミナーは、学内で実施される交換留学の選考を控えた学生や、これから留学を計画している者、又、すでに留学経験を経て更にスコアを伸ばしたい学生を中心に人気があり、受講者総数はのべ20名だった。

Academic Speaking セミナーは、約半数の受講者が海外滞在経験者であるが、コミュニケーション能力をさらに高めたいという受講者や、TOEFL®セミナーと同様に、学内で実施される交換留学や、大学院進学を計画する受講者が参加し、受講者総数はのべ17名であった。

各セミナーの受講者数は、以下の通りである。

セミナー／コース名	講 師	受講者数	応募者数
【Academic Writing 短期集中セミナー】			
English Writing for Beginners	David Kolf	9	13
【TOEFL®短期集中セミナー】			
TOEFL® Reading for Beginners	David Kolf	14	16
TOEFL® for Intermediate Learners	David Kolf	6	8
【Academic Speaking 短期集中セミナー】			

English Writing for Beginners	Ellen Rettig-Miki	10	17
English Writing for Intermediate Learners	Ellen Rettig-Miki	7	14
	計	46	68

以下に学部・学年別申込者の内訳を示す。

受講者述べ総数 46名

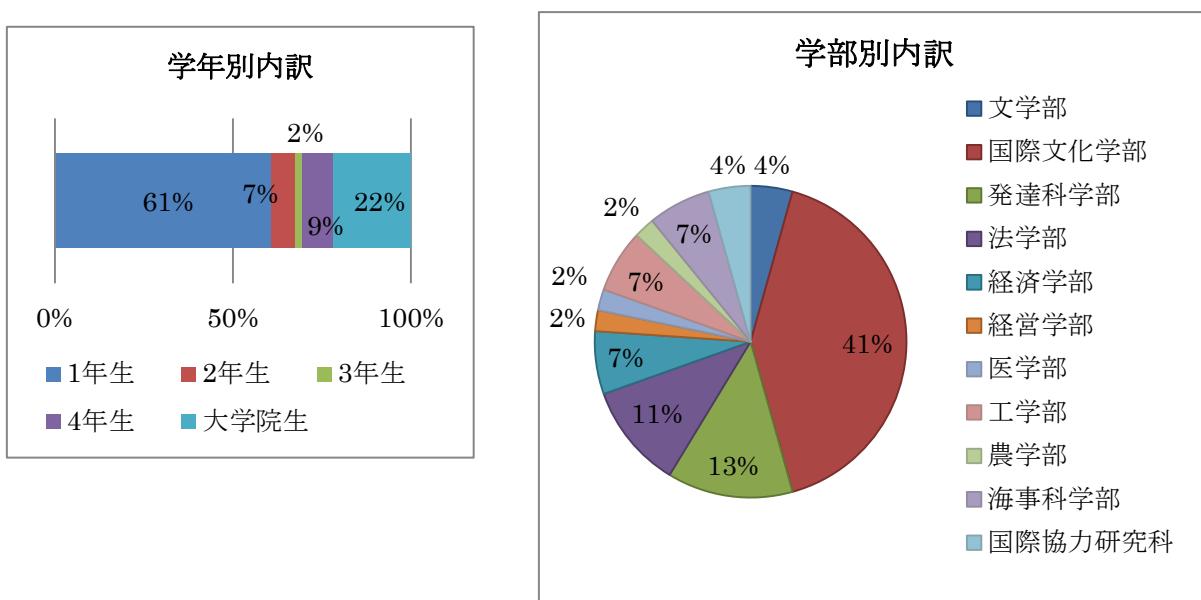
学 部	受講者数	学 年				
		1年	2年	3年	4年	大学院
文学部	2					2
国際文化学部	19	14	2		2	1
発達科学部	6	3	1	1	1	
法学部	5	5				
経済学部	3	3				
経営学部	1	1				
医学部	1	1				
工学部	3					3
農学部	1				1	
海事科学部	3	1				2
国際協力研究科	2					2
小計	46	28	3	1	4	10

注：空欄は受講者が0であったことを示す。

短期集中春季英語セミナーは、グローバル英語コース（GEC）の学生を主たる対象としたものであるが、この取組は全学的な取り組みへと発展することを目指したものである為、取組学部（文、国際文化、発達科、法、経済、経営学部）の学生の受講を優先した上で、定員の範囲内で取組学部以外の学生の受講も認めた。今セミナーでの受講者比率は、取組学部8割に対し取組学部以外が2割であった。取組学部の中では国際文化学部からの参加が最も多く、全体の41%であった。

学年別では1年生が最も多く全体の約60%、その内6割がGEC生で、1名を除いて海外短期外国語研修に参加しないGEMコース生であった。次に参加が多かったのは、大学院生で全体の約22%、その内の7割が取組学部以外の所属であった。次いで4年生、2年生の参加が多く、2年生の参加者は、GEC1期生であった。

以下に、参加者の学年別、学部別のグラフを示す。



4. 受講者へのアンケート結果報告

今後のセミナーの改善を図る為の参考にする為、各セミナー終了後、セミナーに対する感想や意見を記入してもらうアンケートを実施した。

アンケート集計結果（回答数：33件）

Q1: 少人数制のセミナーを受講して、セミナーの前よりも、英語（留学）に対する学習意欲がわきましたか？		
はい、やる気がありました。	31件	94%
少しあはやる気が出ました。	1件	3%
あまり変わりませんでした。	1件	3%

Q2: 受講したセミナーの良かった点を具体的に教えてください（複数可）										
	Writing		TOEFL® B		TOEFL® I		Speaking		Total	
少人数であった点	4	57%	4	40%	6	100%	10	100%	24	73%
授業がすべて英語だった点	7	100%	10	100%	5	83%	8	80%	30	91%
他受講者と意見交換ができた点	0		2	20%	0		7	70%	9	27%
論理的な文章の書き方が具体的に理解できた点	5	71%	2	20%	0		2	20%	9	27%
英語を話す機会が多かった点	3	43%	2	20%	3	50%	8	80%	16	48%
英語を聞く機会が多かった点	5	71%	5	50%	6	100%	5	50%	21	64%
その他*	0		1	10%	2	33%	3	30%	6	18%

*その他は以下の通りです。

TOEFL® B	英語の勉強方法について学べた点
TOEFL® I	Writing の良い例と悪い例の比較がおもしろかった。 4つのセクションの練習ができて良かったです。
Speaking	本当に充実した3日間でした。楽しかったです、Thank you very much. 使用頻度の高そうで便利な定型表現を教えて頂けた点。 一人一人にフィードバックをしてくださった点、とてもよかったです。

Q: セミナーで物足りなかつたと思う点があれば、具体的に教えてください	
Writing	<ul style="list-style-type: none">英語を話す機会がもう少しあれば良かった。回数が1, 2回増えてほしいです。（文章を書くにあたって、基本的なことが沢山あり、3回では練習しきれないと感じました。）授業速度が少しだけ遅かった。（他1名）Writing を見てもらえる貴重な機会なので、受講が決まった時点の事前に何か宿題をだしてもいいのかなと思いました。
TOEFL® B	<ul style="list-style-type: none">もう少し自分のSpeaking を先生に聞いてほしかったReading の問題の解説をもう少ししてほしかったです。
TOEFL® I	<ul style="list-style-type: none">会話
Speaking	<ul style="list-style-type: none">プレゼンの為の文章の添削十分でした！プレゼンテーションの準備の日がもう少しほしいです。時間が詰まっていたので、もう少し日程に余裕がほしかったです。授業中にiPadで各自が調べものをする時間があった点が、家でできるworkだと思った。

Q: 「こんなセミナーがあったらいいなあ」と思うセミナーがあれば教えてください	
	<ul style="list-style-type: none">ディスカッションスキルを高めるセミナー（他1名）中難度クラスのWriting セミナーListening セクション特化セミナーのような分野別セミナー英字新聞、英語ニュース、などを用いて英語に接するセミナー毎週開かれるセミナー英語でしゃべりまくるセミナーCV, Statement of Purpose など、英米大学院への出願準備を目的としたコースIELTS 対策のセミナー（他1名）英書をネイティブの方と一緒に読み、日本人には判りづらい表現の意味や色合いを学ぶ

アンケート結果からも明らかなように、多くの受講生が、今回のセミナーを通して英語学習に対する意欲が湧いたと回答しており、Academic Writing、TOEFL® および Academic Speaking が今後の大学生活で必要になるということをかなり強く意識したようである。又、授業がネイティブスピーカーによる英語で行われたことに、全セミナーを通じて満足度が高かったようである。

各セミナーの良かった点として、「少人数制のセミナーであったこと」に対して、TOEFL® 中級クラスと Academic Speaking セミナーで特に満足度が高い結果となった。又、Academic Speaking セミナーでは、「他受講者と意見交換ができた点」に多くが満足していることから、授業内外で、受講者が交流する機会が多くあったことがうかがえる。

Academic Writing セミナーでは、「論理的な文章の書き方が具体的に理解できた」と、受講者の 71%が回答し、Academic Speaking セミナーでは、「英語を話す機会が多かった」との回答が 80%であったことから、speaking を特化するセミナーとして開講した意義が概ね満たされたと考える。TOEFL® セミナーは、初級クラスも中級クラスもセクションに特化したセミナーでない為、全セクションについて学べたことに満足する受講者がいる一方、苦手なセクションに特化するセミナーを希望する者が数名いたので、今後の検討事項したい。

過去のセミナーでは、受講したセミナーの種類を問わず、セミナー内で会話する機会をより多く持つことにより、コミュニケーション力を高めたいという感想が多かったが、講師に個人的な質問をすることが可能な環境であつただけでなく、講師の熱心な指導により、受講者が発話する機会が多くもたれたようであり、英語でのコミュニケーション能力を高める良い機会となったと言える。

本セミナーの特徴として、学部留学、大学院留学、社会人になってから国際社会で活躍するといった目標を持つ受講生が、英語学習という共通課題に取り組む環境であったが、参加したほとんどの学生が熱心に受講し、学部・学科の枠を超えて、さまざまな価値観に触れることで、自身の新たな発見や視野が広がるきっかけになったことは、本セミナーを開催した意義が大きかったと言える。

5. 参考資料

[Academic Writing 短期集中セミナー]

[English Writing]

D404 教室

English Writing

Instructor: David Kolf (Seido Institute Cultural Programs Chair)

Materials: Students do not have to buy textbooks. All materials will be given to the students by the instructor.

Course Description: This seminar is for students who may need to use English in study abroad programs or similar international settings.

This seminar's objectives: Understanding the structure of paragraphs and short essays. Learning to organize an argument that is clear, coherent and convincing (the plan can be adjusted somewhat according to students' background and needs)

Schedule

September 1st	10:40-12:10	Brainstorming and outlining
	13:20-14:50	
September 3th	10:40-12:10	Paragraph structure
	13:20-14:50	
September 5th	10:40-12:10	Revising , with an eye to typical stylistic problems
	13:20-14:50	

【TOEFL® 短期集中セミナー】

[TOEFL® Reading for Beginners]

D404 教室, D615 教室(12日のみ)

TOEFL Reading for Beginners

Instructor: David Kolf (Seido Institute Cultural Programs Chair)

Materials: Students do not have to buy textbooks. All materials will be given to the students by the instructor.

Course Description: This seminar is mainly for students who have not taken TOEFL® iBT test before. Advice is given on how to prepare on their own: useful websites and resources are presented as well as strategies regarding time allotment and self-study.

Schedule

September 8th	10:40-12:10	Overview. A reading text: Statement followed by support.
	13:20-14:50	Self-study advice. A TOEFL essay.
September 10th	10:40-12:10	Listening and speaking tasks.
	13:20-14:50	Integrated tasks.
September 12th	10:40-12:10	More integrated tasks.
	13:20-14:50	Wrap-up and discussion.

TOEFL® for Intermediate Learners

Instructor: David Kolf (Seido Institute Cultural Programs Chair)

Materials: Students do not have to buy textbooks. All materials will be given to the students by the instructor.

Course Description: This seminar is for students who have taken TOEFL® test before. “Hands-on” presentation of resources for self-study is given, and more time is dedicated to examining critically some sample responses to various types of questions.

Schedule

September 16th	10:40-12:10	A reading text: Statement followed by support.
	13:20-14:50	Self-study advice. A TOEFL essay.
September 17th	10:40-12:10	Listening and speaking tasks.
	13:20-14:50	Integrated tasks.
September 18th	10:40-12:10	More integrated tasks. Critique of sample responses.
	13:20-14:50	Wrap-up and discussion.

[Academic Speaking 短期集中セミナー]

[English Speaking for Beginners]

D404 教室

English Speaking for Beginners

Instructor: Ellen Rettig-Miki

Materials: All printed materials will be given to the students by the instructor. Students will need to prepare presentations on using PowerPoint, mostly as homework. Prepared PowerPoint should be brought to class on USB memory stick, or on student's own laptop PC.

Course Description: This seminar is designed to give students exposure to and practice in using English for academic purposes, particularly focusing on students who have had little or no opportunity to do so in the past. The course will give students chances to practice using English in ways that they would need for academic contexts. The main focus of the seminar will be on presentation skills in English. In addition, students will have some opportunities for one-on-one pair work, giving feedback, dealing with question/answer exchanges, and holding short group discussions. The level of this course is designed to accommodate beginners with little experience using English only in an academic environment, but will offer a chance to practice English in a way authentic to real-life academic needs.

Schedule

September 24th	8:50-10:20	Introduction to Academic Speaking Self-introduction speeches
	10:40-12:10	Sharing and confirming information Characteristics of a good presentation Beginning of Process Presentation
September 25th	8:50-10:20	Question & Answer language and techniques
	10:40-12:10	Process Presentations/Peer feedback Beginning of Opinion Presentations
September 26th	8:50-10:20	Opening discussions—discussion language
	10:40-12:10	Opinion Presentations/Discussions Peer Feedback

English Speaking for Intermediate Learners

Instructor: Ellen Rettig-Miki

Materials: All printed materials will be given to the students by the instructor. Students will need to prepare presentations on using PowerPoint, mostly as homework. Prepared PowerPoint should be brought to class on USB memory stick, or on student's own laptop PC.

Course Description: This seminar is designed to give students exposure to and practice in using English for academic purposes, focusing on students who already have some skill in English use. The course will give students chances to practice using English in ways that they would need for academic contexts. The main focus of the seminar will be on presentation skills in English. In addition, students will have some opportunities for one-on-one pair work, giving feedback, dealing with question/answer exchanges, and holding short group discussions. The level of this course is designed to offer a chance to practice English in a way authentic to real-life academic needs.

Schedule

September 24th	13:20-14:50	Introduction to Academic Speaking Self-introduction speeches Sharing and confirming information Characteristics of a good presentation Beginning of Process Presentation
	15:10-16:40	
September 25th	13:20-14:50	Question & Answer language and techniques Process Presentations/Peer feedback Beginning of Opinion Presentations
	15:10-16:40	
September 26th	13:20-14:50	Opening discussions—discussion language Opinion Presentations/Discussions Peer Feedback
	15:10-16:40	